

市営のコミュニティバスを 大阪市民ネットが結成

「生活交通の拡充で
安心のまちづくりを！
市営のコミュニティバ
スをつくろう大阪市民
ネットワーク」が27
日、44人が参加し結成
されました。

赤バスの存続を求め
る運動を発展させ、黒
字の地下鉄とバスの一
体運営で市民の足を守
り、生活に身近な公共
交通の拡充を求めて、
大阪市営のコミュニテ
ィバスをつくる運動を
すすめようと結成され



市営のコミュニテ
ィバスをつくろう
と開かれた結成総
会 27日、大阪市

たものです。

大阪市内で開かれた
結成総会では、立命館
大学の土居靖範名誉教
授が講演し、「誰もが
利用したくなる市営コ
ミュニティバスづく
り、誰もが住み続けら
れる大阪市をつくら
う」と呼びかけまし
た。日本共産党の山中
智子、岩崎賢太両市議

が参加し、山中氏があ
いさつしました。

討論では、地域ごと
の問題点や活動を地域
や団体の代表が発言。
「市バスの減便にとも
ない車いすで利用でき
るバスも減らされてい
る（障連協）、赤バス
の廃止で高齢者の1割
が外出をやめ、3割が
外出を控えている」

（生野区）と報告しま
した。

総会では、役員体制
を決め、市議会への陳
情署名を集めること
や、9月12日の「防災
と都市交通を考える市
民のつどい」（午後2
時、大阪市立西区民セ
ンター）を成功させる
ことなどを確認しまし
た。

(2015年8月29日付しんぶん赤旗)